

からだとところの関係性

からだところって、密接に関係しています。

※ホリスティックな視点でいうと、
「からだ」「ところ」「たましい」の3つの関係性になります。

たましい≡その人の生き様 という捉え方でOKです

からだに症状がある時、こころ(感情)にも症状がある場合が多いです。

もしくは、人生の「課題」がCLに突き付けられている場合が多いです。

からだところの関係性についての理解を深めて

CLをより深く理解したり、確実な見立てを
できるようにしましょう。

よくある「慣用句」「ことわざ」「故事成語」
…これって、いわゆる先人の知恵です。

つまり、大昔から、人はみんな
「からだ」と「こころ」の関係性に気づき、教訓としていたのです。

<ミニワーク>

体の一部を使ったことばって、いろいろありますよね。
(思い出してみましよう。いくつ書き出せますか?)

<体の一部を使った慣用句やことわざ、故事成語の例>

頭を冷やす、目の上のたんこぶ、耳が痛い、首が回らない、
手を焼く、肝心、腰を据える、足が重い、猫の手も借りたい、
顎で人をこき使う、はらわたが煮えくり返る、話の腰を折る、
顔が利く、目がくらむ、胸に刻む、心が痛む、腕がたつ……。

さて、改めて思い出して、書き出してみると

体の一部を使った「慣用句」「ことわざ」「故事成語」って、
たくさんあることに気づきますよね。

そして、ことばの意味をふまえてそれらを並べてみると
共通項、パターンが見えてくることにはお気づきですか？

さて、ここから本題です。

- ・基本パターン
- ・からだの部位別
- ・症状別

これらの視点で、「からだ」と「こころ」の関係性についての学びを深めていきましょう。

からだとところの関係性 基本パターン

左半身→人間関係、受け取る、母親に関係する課題

右半身→お仕事(キャリア)、与える、父親に関係する課題

からだとところの関係性 部位別(例)

- 頭・・・思考、直感、創造性、受け取ること、導きなど
- 目・・・自分の周りの世界とのつながり(能動的)、展望
- 耳・・・自分の周りの世界とのつながり(受動的)、メッセージ
- 首・・・コミュニケーション、考えと行動の不一致、頑固さ
- 肩・・・物事を「背負う」、犠牲
- 手・・・操作、コントロール、自分の「やり方」
- 腰・・・変化への怖れ
- 性器・・・親密感・セックス・パートナーシップ・誕生への怖れ
- 膝・・・前へ進むことへの怖れ、支えや土台がない不安

からだとところの関係性 臓器別(例)

脳・・・意識の調整、統制

心臓・・・愛、勇気

肺・・・生きるということへの許可

胃・・・理解、受容、感情を伴う体験の消化

肝臓・・・生と死、怒り、犠牲、自己攻撃

胆嚢・・・怒り、苦渋の感情処理

大腸・・・状況・感情の統合

腎臓・・・感情、課題の浄化

骨盤・・・安定性、パワー、土台、開放性

からだところとの関係性 症状別(例)

- 頭痛・・・課題に対し、無理やり解決しようとしている
- 不眠・・・ところが忙しい。無理に課題を解決しようとしている
- 咳・・・前進したいがはまり込みもある「葛藤」の状態
- 耳鳴り・・・聞くべきメッセージや直感に耳を傾けていない
- 炎症・・・未解決の怒り
- 痛み・・・傷つき体験
- 骨折・・・(無意識的な)自己攻撃・他人への攻撃
- 膿・・・感情的なわだかまり(古い課題)
- 癌・・・罪悪感、自己攻撃、生き方を変える必要あり

そして、これらの要素を掛け合わせて、
CLの課題を見立てていきます。

「左半身？右半身？」×「部位」×「症状」

そして、これらの要素を掛け合わせて、
CLの課題を見立てていきます。

「左半身？右半身？」×「部位」×「症状」

(例)

「左肩が重い、やたら凝る」

→ 人間関係で責任・重圧を感じて犠牲的になっている

「転倒して右膝を痛め、痛くて歩けない」

→ キャリア面で次のステージに進むことを怖れている

まだまだいろいろなメッセージがありますが、
詳しく知りたい方は
ネットで調べたり、本を読んだりして学びを深めましょう。

※注意点

必ず「こうです」というものではありません。

(特に、医療に触れる部分には要注意)

あくまでも「ひょっとすると、こうかもしれない」という
可能性、見立ての範囲、もしくは

CIが自分と向き合うための切り口として活用していただきたいね。